

るべし略○中 永萬元年六月廿五日、位につかせ給、御とし二、略○中 御とし二にて位につかせ給事、これやはじめにておはしますらん、近衛のみかどは三にてはじめてつかせ給ふと申しも、はじめたる事とこそうけ給はりしか、おほくはいつゝなどにてぞつかせ給ふ、からくにゝは一なる例もおはしましけりとかきこえき、

〔百練抄高倉八〕仁安三年二月十九日、受禪八、攝政基房如舊、同三月廿日、即位、

〔帝王編年記高倉二十二〕仁安元年十月十日、立太子、六年、同三年三月廿日、即位于大極殿、

〔百練抄安九〕治承四年二月廿一日、受禪三、以關白基通爲攝政、同四月廿六日二〇、日誤、即位紫宸殿、三

〔玉海〕治承四年四月廿二日、此日天皇德○安 即位於紫宸殿、春秋

〔源平盛衰記十二〕安徳天皇御位事

二月十九日、日○治承四年、十九、春宮位ニ即セ給フ、安徳天皇ト申、僅ニ三歳ニゾ成セ給、イツシカナリ、先帝倉○高モ異ナル御事モマシマサ子共、我御孫子ヲ即奉ンタメニオロシ奉ル、是モ太政入道清盛○平ノ萬事思様ナル故ナリト人々私語傾申ケリ、平大納言時忠卿聞之被申ケルハ、ナジカハイツシカ也ト申ベキ、異國ニハ周ノ成王三歳、晋穆帝二歳、皆襁褓ノ中ニ裹レテ衣帶ヲ正クセザリシカ共、或ハ攝政負テ位ニツキ、或ハ母后懷キテ朝ニ望トイヘリ、後漢孝殤皇帝ハ、生レテ百餘日ニテ踐祚アリキ、我朝ニハ、近衛院三歳、六條院二歳、コレ皆天子ノ位ヲ踐給フ、非無前蹤、ナジカハ人ノ傾申ベキト噴リ宣ケレバ、時ノ才人蓬、穴オソロシ、物云ハジ、去バ其ハ吉例ニヤハ有トゾツブヤキケル、

〔百練抄後鳥羽十〕壽永二年八月廿日、於閑院受禪、春秋、同日以攝政基通更爲攝政、

〔帝王編年記後鳥羽二十三〕壽永二年八月廿日、皇子鳥羽○後 立太子并受禪、四年

〔續史愚抄後宇多〕文永十一年正月廿六日甲辰、於二條高倉里内受禪、春秋